

2012年9月27日(木)
株式会社ボーネルンド

子どもからシニアまで広がるコミュニケーション空間 ヤマトヤシキ加古川店の屋内あそび場「きっずらんど」をプロデュース ～市や教育機関と協力し、今後の「地方都市活性化への貢献」モデルケースに～

子どもの健全な成長に寄与することを目的に教育玩具の輸入・開発・販売を行う株式会社ボーネルンド(本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：中西弘子)は、兵庫県加古川市の百貨店「ヤマトヤシキ加古川店」内に9月28日(金)にオープンする屋内あそび場「きっずらんど」をプロデュースしました。

このたびボーネルンドは、加古川市の第3セクターで、建物を所有する加古川再開発ビル株式会社より依頼を受け、「ヤマトヤシキ加古川店」内のあそび場「きっずらんど」をプロデュースいたしました。子どもの成長に欠かせない、発達段階や様々な興味に応じたあそびを提案できる当社が、地域の子どもの健全な成長をあそびを通してサポートします。この取り組みは加古川市から積極的な支援を受け、さらに教育機関とも連携し実現に至りました。今後も当社はあそび場づくりを通して地域が抱える課題に向き合い、行政や教育機関などと連携しながら、地域活性化への貢献に努めて参ります。

「きっずらんど」プロデュースの背景と特徴

● あそび場作りを通して、地方都市が抱える課題解決と子育て支援を実現

昨今、駅前商業地域の空洞化や子育て支援の拡充は、地方都市が抱える共通の課題となっています。今回、当社はそのような課題の解決に向け、コミュニティとして機能するあそび場作りを提案いたしました。あそび場を訪れる親子連れが「ヤマトヤシキ加古川店」をはじめとする駅前エリアに集まることによって、地域コミュニティの活性化を狙います。また、子育て中のパパ・ママを応援するための「かがわ子育て情報コーナー」もあそび場に隣接され、さまざまな情報を提供いたします。

● ファミリーの憩いの場としても、世代間を超えたコミュニケーションの環境を実現

人々の憩いの場となることを目的に、あそび場とコミュニティスペースを併設することを提案しました。これにより、あそび場を利用する親子連れ、また、お孫さん連れのシニアの方々にも開かれた空間を提供いたします。座ってカウンター越しに子どもたちを見守るスペースを設置するなど、子どもと大人の自然な接点を作り出し、世代間の垣根を超えたコミュニケーションの実現を目指します。

● 兵庫大学、兵庫大学短期大学部と連携、教育者を養成する場としての役割も

兵庫大学、兵庫大学短期大学部と連携し、幼児保育や幼児体育、子育て支援実践の場として活用します。あそび場が、子育てを支援する教育者を養成する場としての役割も果たします。

当社では、子どものあそび場づくりが子育ての現代的課題に対する解決策の一つになると考えており、子育てを支援するためには、あそび場を「社会に必須のインフラのひとつ」まで高めていくことが必要だと考えています。今後も行政や教育機関との協働によるあそび場づくりの取り組みを、全国に広げていくことを目指しています。

「きっずらんど」設置コーナーイメージ



ごっこあそびコーナー(イメージ)



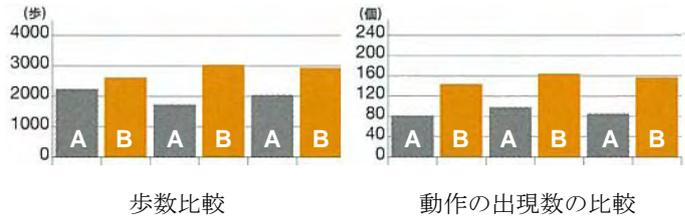
ベビーコーナー(イメージ)

ポーネルンドのあそび場について

当社は、子どもの遊び場の減少や身体能力、意欲の低下といった社会問題解消に向け、健全なからだづくりの基礎を育める室内遊び場「キドキド」を展開しております。キドキドは、通常保育と比較して歩数が約 1.5 倍、跳ねる・転がる・くぐるなどの動きの多様性は約 2 倍という高い運動効果や、子ども自身の高い満足度などからリピーターも多く、来場者数は好調に推移しています。本施設は、キドキドで培ったノウハウも充分に活かしてプロデュースしています。

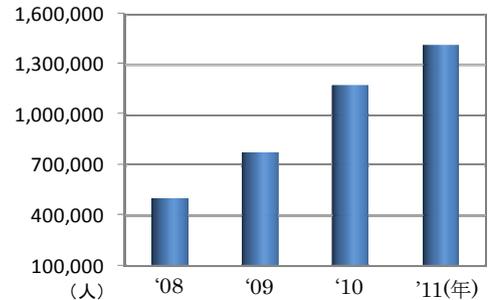
運動効果の実測データグラフ

A: 通常保育 B: インドアプレイグラウンド



※山梨大学教育人間科学部 中村和彦准教授（現教授）による調査

「キドキド」の総来場者数推移



「きっずらんど」概要

- 所在地 〒675-8505 兵庫県加古川市加古川町篠原 21-8 ヤマトヤシキ加古川店 4F
- 施設面積 約 25 坪
- 対象年齢 未就学児までのお子様
- 営業時間 10:00~19:00 ※ヤマトヤシキ加古川店の営業日時に準じます
- 営業開始日 2012 年 9 月 28 日(金)
- 電話番号 079-425-1221(代表)

「きっずらんど」施設内イメージ



【ポーネルンドについて】

ポーネルンドは、あそびを通して子どもの健全な成長に寄与するため 1981 年に設立し、一貫して“あそびの道具と環境”を提供する事業を展開。一般家庭へ向け、子どもの成長に必要な生活道具としての“あそび道具”を提案、全国約 85 カ所で直営店舗を運営しています。同時に幼稚園や保育園、公園などに高品質な大型遊具や教育道具の提供を含めたあそび環境の開発を行っており、現在までに手掛けた実績は国内約 3 万カ所まで拡大しています。また、2004 年からは、子どもが遊ぶ機会を増やすために、親子一緒に様々なあそびを体験できる室内あそび場「キドキド」事業をスタート。現在全国 13 箇所、年間 141 万人の親子が訪れています。

《報道関係の方のお問い合わせ先》

株式会社ポーネルンド 広報室
 担当：村上、讃井（さぬい）
 T E L : 03-5785-0860 / 080-5901-3591
 E-mail : y-murakami@bornelund.co.jp

株式会社プラップジャパン
 担当：古澤、五味渕、山口
 T E L : 03-4580-9104
 E-mail : bornelund@ml.prap.co.jp

《一般の方のお問い合わせ先（ご掲載用）》

株式会社ポーネルンド TEL : 0120-358-518